



はくろ（白鷺）の散歩Ⅵ

令和6年7月18日
～校長室の窓から～ 令和6年度 No.8
神奈川県立平塚中等教育学校
校長 松本 靖史

【夏休み前の全校集会】

令和6年7月18日（木）は、夏休み前最後の課業日となりました。今年も熱中症対策ということで、オンラインで全校集会を行いました。

はじめに、7月31日付で他校に異動になる国語科の教員の離任式を行いました。つづいて校長から生徒にいくつかお話をしました。

【地球環境について】

まず、7月に入ってからのも異常な猛暑を踏まえ、次のことについてお話をしました。

- 令和5年（2023）は記録的な高温の1年で、世界及び日本の平均気温は統計開始以降最も高くなったこと。
- 令和5年7月には、グテーレス国連事務総長が「地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰の時代が到来した（The era of global warming has ended；the era of global boiling has arrived.）」という言葉で、気候変動による最悪の事態の回避を訴えたこと。
- 気候変動は、大雨の頻度や強度の増加、干ばつの増加、大気中の二酸化炭素濃度の増加による海洋酸性化といった変化をもたらしているが、問題は国境を越えて、社会、経済、人々の生活に影響を及ぼすということ。

最後に、地球環境の変化にぜひもっと関心を持つとともに、日々の生活から地球環境への配慮する感覚を持つようお話ししました。

【人権について】

次に、平成28年7月26日の未明に、神奈川県の障がい者施設である津久井やまゆり園で発生した事件を踏まえ、次のことについてお話をしました。

- この事件を受けて神奈川県は、平成28年10月14日に、「ともに生きる社会かながわ憲章」を定めたこと。



学校図書館では、特設コーナーを設けました



- 神奈川県の「かながわ人権施策推進方針」では重点的に進めている13の分野があること。

- ①子ども、②女性、③障がい者、④高齢者
- ⑤疾病等にかかる人権課題、⑥同和問題（部落差別）
- ⑦外国籍県民等、⑧貧困等にかかる人権課題、⑨犯罪被害者等
- ⑩北朝鮮当局によって拉致された被害者等
- ⑪性的マイノリティ、⑫インターネットによる人権侵害
- ⑬様々な人権課題（アイヌ民族の人権課題、災害発生時の人権課題、ケアラーの人権課題、孤独・孤立による人権課題）

- 日常生活の中で、偏見に基づく不当な差別的言動など、人権上問題があると思われる出来事に接した際に、直感的にそれはおかしいと思う感性や、人権への配慮が自らの態度や行動に表れるような人権感覚を身に付けて欲しいこと。

とくに差別的言動については、大人でさえ日常の何気ない場面で使ってしまうことがあることから、相手を傷つけるだけでなく、自分の信用を無くしてしまうものであることを伝えました。

【夏休み前に様々な発表がありました】

夏休み前の最後の課業日である18日（木）には、部活動の発表の機会がありました。



午後1時から、ダンス部が校内発表会を中庭で開催しました。ストーリー性があり、一糸乱れないレベルの高い踊りは、観客を大いに魅了していました。校舎の廊下の窓からもたくさんの生徒が踊りを見ていて、学園ドラマのワンシーンのようでした。

また、同じ日の午後1時半からは、合唱部のサマーコンサートが視聴覚室で行われました。